

授業科目	基礎実習				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE11102J		
開講年次	1	開講時期	通年	該当DP	DP3-1 DP4-1 DP4-3 DP5-1			
担当教員	荒木 剛、山本 佳代子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>福祉サービスの実践現場において、実務者(職員)の指導のもと、体験実習を100時間以上行う。また、学内においては、実務家教員の指導のもと、実習前の準備学習、実習中のスーパービジョン、実習後のまとめ・報告会を行う。</p> <p>実習先の例)介護老人福祉施設、認知症グループホーム、児童館、学童保育、障害者支援施設、保育所など。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習生としての心構え・マナーについて理解し、実践できる。 2. 実習に向けた諸手続きについて理解し、実行できる。 3. 利用者との関係形成の方法について理解し、実践できる。 4. 実習施設での具体的な支援について理解し、実践できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	10	10	60	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10	10		10	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)					10	20	30	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)			10			10	20	
技能・表現 (DP5-1)						20	20	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
利用者個々のニーズを理解し、具体的な支援内容・方法を検討・実践できる。また、実習体験を踏まえて今後の学習や実習に向けた課題を整理できる。				実習生としての基本的態度やマナーを身につけ、実践できる。また、利用者と良好な関係を築き、適切に支援を展開できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	【オリエンテーション】 科目の概要、授業スケジュール、履修上の注意点について学ぶ。(担当:全教員)			講義		当該テーマに関する予習・復習		30

2	【対人援助の仕事】 ビデオを視聴し、対人援助の仕事のイメージを具体化する。(担当:全教員)	講義	当該テーマに関する予習・復習	30
3	【対人援助の仕事】 前回の感想を共有し、対人援助の仕事の意義について学ぶ。(担当:全教員)	グループワーク	当該テーマに関する予習・復習	30
4	【実習までの手続き】 実習開始に向けた具体的手続きや提出書類等について学ぶ。(担当:全教員)	講義	当該テーマに関する予習・復習	30
5	【実習中のリスクマネジメント】 実習中に起こりえる事故やトラブル等への対応方法について学ぶ。(担当:全教員)	講義	当該テーマに関する予習・復習	30
6	【実習前の最終オリエンテーション】 実習先との日程調整の仕方、実習上の注意点等について学ぶ。(担当:全教員)	講義	当該テーマに関する予習・復習	30
7	【実習の中間振り返り】 これまでの各自の実習体験を振り返り、学びや課題の整理を行う。(担当:全教員)	グループワーク	当該テーマに関する予習・復習	30
8	【後期オリエンテーション】 後期の授業スケジュール、実習振り返りシートの作成について説明する。 (担当:全教員) ※後期の授業内容・スケジュール等は実習の進捗状況によって変更する場合があります。	講義	当該テーマに関する予習・復習	30
9	【実習の振り返り】 各自の実習体験の振り返りと共有を行う。 (担当:全教員)	グループワーク	当該テーマに関する予習・復習	30
10	【実習報告会の準備】 実習報告会について説明を行う。 (担当:全教員)	講義	当該テーマに関する予習・復習	30
11	【実習報告会】 各グループの実習体験について報告を行う。 (担当:全教員)	グループワーク	当該テーマに関する予習・復習	30
12	※上記以外にも個別・グループ学習を行います。			
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	基本的なコミュニケーション力や他者との関係形成力が不可欠です。また、実習生としての心構えやマナーを十分に理解し、実践することが求められます。			
テキスト	なし。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	教材等：必要に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	各自が実習を行う施設について基本的な知識を身につけておいて下さい。また、規定時間(100時間)に達した後も、継続的に活動を行うことが望まれます。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	実習レポート、実習日誌、必要書類や課題等の提出状況、その他(授業への参加意欲、実習および個人・グループ学習に取り組む姿勢)で評価します。			

